①利用しやすさ(利便性)の向上

* 休館日の見直しを検討

→継続

* 館外サービスの充実

・ブックポストの増設や公共施設・事業所と連携した受け取り・返却サービスの検討

→継続 和戸・須賀地区の情報を収集中

* 資料検索、リクエスト、貸出サービス等の改善・充実

→継続

②レファレンスサービスの充実と利用促進

* 相談窓口(スタッフ)サービスの充実と利用促進

→継続

③利用者ニーズ・地域課題に対応した資料収集

* 多様な情報資料の蓄積と提供

→8月より産経新聞と東京新聞の購読を開始

・他の公共図書館、大学図書館との連携と相互協力の推進

→継続

・デジタル化郷土資料を活用し、地域の情報発信力を高める

→継続 郷土資料館と連携し検討中

・電子書籍(TRC-DL)の充実と利用促進

→継続 利用促進のための講座を下期に予定

④高齢者・障がい者向けサービスの充実

* 高齢者向けサービスの充実を検討する

・よみうり回想サロンの実施

→9月に認知症合同展の催しとして実施、19名参加

・バリアフリー映画会の実施

→10月実施、33名参加

* 様々な障がいに対応したサービスの充実を検討する

→継続

* 来館が困難な利用者向けサービスの充実を検討する

→継続

・自治会、地域交流サロン、福祉施設への団体貸出を検討する

→継続

⑤子供の読書活動の推進と小中学校との連携

* ボランティアとの連携による行事の継続開催

・ボランティアグループと協働による「おはなし会」「紙芝居」「映画会」「すいようえほんの会」等
行事の実施

→毎月実施

* 乳幼児を連れた保護者向けサービスの推進

- ・「赤ちゃんタイム」の実施、子育て支援の一環として、親子で気兼ねなく図書館で過ごせる時間を提供する
 - 毎週実施
 - ナクスス特別回として「0歳から楽しむファミリークラシック」を実施 34名参加
- ・講座「生きる力を育てるために～絵本のある子育て～」の実施
 - 調整中
- ・「にちようえほんの会」の実施
 - 毎月実施
- * 児童や青少年の読書活動の促進、図書館利用につながる行事の継続開催
 - ・小学生の読書推進活動の一環として、単位制の司書講座を開設し、全単位取得者には「子ども司書」認定証を授与する
 - 下期に予定
 - ・「ぬいぐるみおとまり会」の実施
 - 10月に実施、21名参加
 - ・夏休み期間中「科学あそび教室」、「おはなし工作会」、「読書感想文教室」等行事の実施
 - 定員制とし、8月に実施、科学あそび教室 26名参加、おはなし工作会 19名参加、読書感想文教室 13名参加、
 - 8月こわ～いおはなし会実施、60名参加
- * 小中学校との連携(支援)
 - ・新小学校1年生全員に、「本の紹介」、「図書室利用のオリエンテーション」を実施し、好きな本をプレゼントする(らんどせるブック)、同時に希望者に「図書館利用カード」「読書通帳」を発行する
 - 実施した 読書通帳は 357冊渡した(上期)
 - ・図書館システムによる蔵書管理の支援を行う
 - 継続
 - ・読書統計資料活用により児童・生徒の読書指導を支援する
 - 継続
 - ・学校図書ボランティアとの協働により、児童・生徒の読書活動の推進を図る
 - 継続
 - ・第13回「宮代町図書館を使った調べる学習コンクール」の事務局としてコンクールの充実を図る
 - 第13回を実施した 114作品 115名参加
 - ・地域の小学校、中・高等学校からの社会体験研修を積極的に受け入れる
 - 5月前中 3名の職場体験を受け入れた
 - アバンティさんから2名を受け入れた
 - 6月百小まちたんけんを受け入れた 10名参加
 - 8月特別支援学校の先生2名の研修を受け入れた
 - 9月杉戸中学校の職場体験として3名を受け入れた
 - ・町内小・中学校にデジタル郷土資料を授業用資料として提供することを検討
 - 継続 郷土資料館と連携し検討中

・町内小・中学校に電子書籍(図鑑等)を授業用資料として提供することを検討

→検討中

* 高校との連携

・新生に図書館利用案内や電子図書館の利用案内を配布し読書支援を行う

→4月宮代高校と日本工業大学へ新生向けとして図書館利用案内を配布した

* 地域や他施設との連携

・「子育てひろば」、国納保育園、みやしろ保育園への団体貸出の実施

→継続

・学童への団体貸出の実施

→継続

・教育支援センターへの団体貸出の実施

→継続

・自治会の祭り等へ出張読み聞かせの実施を検討する

→検討中 情報を入手しニーズを探る

⑥地域に根差し、住民、利用者とともに育む図書館運営

* 専門的職員の配置と育成

・スタッフの適正配置と研修

→継続 7月にPマーク研修を実施、10月に接遇研修(本社から講師)、紙芝居講座(童心社から講師)を受講、児童サービス研修(県立図書館)

* 住民や利用者の交流と図書館運営の参画

・「ライブラリーシアター」、「講談DVD鑑賞会」、「持ち寄りレコード鑑賞会」等の実施

→ライブラリーシアターは毎月実施、講談鑑賞会は9月実施34名参加、レコード鑑賞会は11月に予定

・読書会の実施を検討する

→11月に予定

・日本工業大学等や地域との連携による講演会等の実施

→6月に食育展示(保健センター、町環境資源課、図書館)を実施し、関連本(食品ロスなど)の展示貸出

→7月にマネー講座を実施した(埼玉県金融広報アドバイザーによる資産運用等)45名参加

→9月に開館30周年記念講演会(万葉集東歌に魅せられて 田中信秋氏)実施130名参加

→9月～10月に認知症合同展(図書館、町健康介護課、社協、日本工業大学)を実施したパネル展示、関連本の展示貸出、特別上映会(83名参加)、回想サロン(19名参加)、

日本工業大学特別講演会(認知症・パブリックトイレの研究)30名参加、

→東武動物公園講演会(子ども向け・大人も 獣医のお仕事)を令和7年1月に予定

・郷土資料館との連携によるデジタル郷土資料を活用した「郷土史講座」の実施

→令和7年2月に予定

・ナクソス・ミュージック・ライブラリーを利用したクラシック鑑賞会の月例実施

→毎月実施

・国立国会図書館「歴史的音源サービス」を利用した落語・オペラ等の鑑賞会の実施

→令和7年1月に予定

・大人のための 16mm映画会の実施

→11月に予定(今年度は開館30周年記念として「大人と子どものための16mm映画会&童話と絵本の会」実施予定 タイトルは「図書館のニコニコ大会」)

・大人のための絵本の会を実施

→調整中

* 情報の公開と発信の強化

・広報紙「図書館だより」、「こどもの部屋」の充実を図る

→継続(広報みやしろ7月号表紙と特集ページにボランティアさんと学校支援の記事が掲載)

・ホームページの充実を図る

→継続

・Twitter等による情報発信の充実を図る

→継続

⑦施設の適切な維持改善と快適な利用環境づくり

* 施設、設備の改修

・老朽化した施設、設備の修繕

→第1駐車場のインターロッキングを修繕した

・駐車場に関する課題を検討する

→継続

* 既存施設の活用、施設空き時間の有効活用

・夏休み・春休み・試験期間に研修室を学習室として開放する

→実施した

* 閲覧、学習スペースの充実

・レイアウトの検討

→継続

その他

・雑誌広告が12社となった

・7月に1回目避難訓練実施、令和7年2月に2回目を予定